

令和7年5月11日開催 意見交換会 報告

総務文教常任委員会分科会でお聞きしたご意見

地域見守りカメラと防犯に対して

1. 今回で3年連続の質問になるが、地域の見守り防犯カメラ23か所は以前から変わっていないし、今年は1箇所の増設だけ。市と議会は真剣に取り組んでいるのか。また、今回の補助金による1件3万円の防犯カメラ設置についての進捗は。

(議員から) ご指摘については犯罪抑止に対する貴重なご意見なので真摯に受け止める。今回の防犯カメラ設置等に関する3万円補助は、闇バイト防犯対策としての位置づけで行っている事業である。

行政視察について

1. 総務文教常任委員会の行政視察について、そこで得られた知見と選定地の理由を伺う。視察後には、そこで得た知見について、報告会などを開いて市民との共有財産にすべきではないか。

(議員から) 今年度の行政視察について、場所は愛知県高浜市と半田市へ視察に赴き、高浜市では小学校等整備事業について、半田市では部活動の地域移行について勉強させていただいた。また、太宰府市の公共施設の再編という視点から視察した。市民への報告会については、今後参考にさせていただく。

選挙投票について

1. 選挙の投票について高齢者で移動困難な人は、投票会場まで行くことが困難である。参考事例を検討して、工夫をしていただきたい。

(議員から) 投票率向上の視点で有効な方法を検討していく。

意見交換会の周知と西鉄路線バス廃止について

1. 多くの人への参加を呼びかけるのであれば、意見交換会チラシを各自治会へ渡して回覧してほしい。
2. 星ヶ丘の西鉄路線バスについて、議会としても全議員で自治会長を巻き込んで西鉄へ路線廃止しないように訴えてほしい。

(議員から) 貴重なご意見として承る。

少子化と空き地対策

1. 人口減少と福祉に力を入れて頂きたい。また、空き地調査をお願いしたい。遊休地を有効利用して人口増につなげてほしい。
(議員から) 貴重なご意見として承る。

自治会加入要件緩和と子どもの遊び場について

1. 自治会のあり方について見直していただきたい。引っ越してきた当初は自治会に加入していたが、ひとり親で子どもが小さく、役員になることができないため自治会から抜けさせていただいた。現実、働きながら子どもを育て、自治会のお仕事も、となると手に負えない状況を理解して若い世代に柔軟にバランスを見て頂きたい。また、土日に利用できる子どもと一緒に遊べる施設を要望する。図書館も薄暗い。
(議員から) 貴重なご意見として承る。

史跡水辺公園施設の老朽化と新たな公共交通について

1. 史跡水辺公園施設の管理について情報公開すると老朽化設備の更新が進まないようだ。また、西鉄バス星ヶ丘路線廃止に伴い、代替交通を考えてほしい。
(議員から) 貴重なご意見として承る。

市議会議員数について

1. 市議会議員は今の 16 名で充分。議員数 (定数) を減らすように要望する。

意見箱について

1. 意見箱に投書するが、回答がない。回答期限を決めるか回答をしないなら意見箱をやめるべき。

デジタル、AI の教育について

1. デジタル、AI の教育についてどう進めようとしているのか。一人雇うより 10 人分くらいの活躍があり効率的である。推進してほしい。
2. マインクラフトについて推進している団体が、自治体パートナーを探している。連携パートナーに太宰府市がなったらよいのではないかと思う。

3. AI を使った市の動向が見てこえない。議会でも使うべき。
4. 教育面で、情報の教育が大学生でも遅れている。リテラシーが下がってきている割に求められるようになっていく。
5. 学中など Wi-Fi の設備が良くない。弱い。デジタル教育に力を注いでほしい。市役所にも Wi-Fi 環境がないのは災害避難時を考慮するとどうなのか。
6. AI が広がると脳を使わなくなるので、衰えないように頭を使う教室などがあるといいかもしれない。

パブリックコメントについて

1. パブリックコメントの記録が、ホームページから消えてしまう。回答だけが残っている状態。素案を隠すのは良くないのでは、と思う市民もいる。素案とセットで残すべきではないか。

不登校問題について

1. 不登校関係について、自分の経験からスクールソーシャルワーカーは専門的に勉強されているとは思いますが、なかなか解決できないのではないかと。
2. マインクラフトやフォートナイトなどは不登校支援についても活用されている。なかには、学校に登校するようになる子もいる。自治体としてそのような活用は知っているのか。利用者は共通の話題でつながっている。e スポーツ利用者には高齢者も増えてきている。Wi-Fi 環境を整備すると避難所開設時にも活用できるようになるのではないかと。市として活用すべきと思う。まちとしてのブランド力向上にもなる。

意見交換会について

1. 意見を聞くだけでいいのか。今回は、意見を聞くだけなのか。各個人の意見を聞くことが重要ではないか。
2. 意見交換会の方向性は。情報共有はできているのか
(議員より) 時間的な課題もある。やり方を試行錯誤している。いろいろな意見を聞いて市に届けるようにしている。
3. 委員会ごとの情報共有はできているのか。
(議員より) 常任委員会で話し合い、議会として共有している。

災害対策について

1. 災害時、すべての職員が緊急に対応できる状態なのか。職員の対応に不安を感じる。市の説明が足りない。

人権について

1. 子どもたちに人権をどう教えるか。知人の社会教諭に「人権とは何か」尋ねたが教諭もピンと来ていないようだった。高校生になる姪に人権について聞いてもスマホで調べている。人権の問題はいろいろあるが「いじめ」と「人種差別」しか学んでいないようだ。

（議員より）同和地区で差別と闘う人と関わってきたが、これは永遠の課題である。学校もできるだけ子ども達に理解できるようにやってきたが、今の若い先生たちが、そこまでやれるかは難しいかもしれない。

文化財保護と四王寺のキャンプ場問題について

1. 四王寺山の文化財に一般の方がキャンプ場を作っていたことは遺憾。歴史のある文化、伝統だからこそ、沢山の国の人たちが日本に来る中で、再発しないように、どう守って行くのか。それに対応する条例を作る方向性なのか。
2. こういう問題が起こった時は、積極的に直ぐに市でもとり上げていただきたい。テレビでは一方通行でしか情報が来ない。

（議員から）県と連携をとって解決に向かった。次の世代に守っていきなれないといけない。いろんな計画を立てながら、進めているのが現状。今後は、条例整備なども含めて、こうしたケースが起きないように検討していきたい。

夫婦別姓・戸籍制度について

1. 戸籍は日本独自のもの。戸籍があるから、誰がどこの家の人間か分かり、相続のときにも必要なものでスムーズに行く。軽々しく「制度を変えよう」という話はちょっと違うんじゃないかと思う。こういう問題について、国レベルということではなくて、市としてはどんな考えを持っているのか、立場をもう少しはっきり示してほしい。市議会として表明している自治体もある。

性教育の現状と課題

1. 小中学校の性教育が不十分に思える。中学生の妊娠、小学校高学年の妊娠問題がある。避妊を学んでない状態の性行為が増えている。兄弟姉妹や親からの性暴力とかも起こっている。女子の生理が始まる前にしっかり伝えていくべき。

農地・田んぼの保全と社会教育・地域連携

1. 高雄地区は田んぼが広がっている。田んぼを今後も守っていききたい。田んぼを残すために、社会教育の一環として貸農園という形で活用してもらいたい。地域の農家さんも少なくなっている。その方たちが繋いで子ども達に教えていってほしい。昔は小学校でも田植えや稲刈りがあったが今はない。大人も参加した社会教育が出来ないかなと思う。

（議員・市民から）田んぼが宅地化されているのは、本市には「農業振興地域」という、農業計画により農業を推進することが必要と定められた地域がないためと思われる。国からの新規就農者補助金につかない。しかし最近では農業従事者が少しずつ増えていると感じる。そうすると振興地域の指定なども県に掛け合ったりできる。まずは希望者が分かるように市民農園、空き家等の見える化が大事。

空き家問題と市の支援体制

1. 市民農園と同じく空き家はたくさんあると聞くが見える化をしてほしい。市へ声かけできる体制が必要。市は関わっていない。関わらなくていいからせめて見える化をしてほしい。うちも昔の家を空き家バンクに登録しようかと思ったが情報が少なすぎる。サポート体制を整えてくれたら、もっと活用されると思う。欲している人はたくさんいる。すぐに検索できるようにしてほしい。

市民憲章・太宰府の将来像について

1. 「市民憲章」を初めて知った。太宰府市民としてもっとこうあってほしいというビジョンがもっと見えたらいい。最近では個人の権利とかばかり尊重されて、便利さばかり優先される世の中。市には歴史など大事なものもある。この中でもっとビジョンを出してもらいたい。

防災について

1. 緊急時の食料も実際作って試してみる必要がある。筑紫野市は子ども食堂でやっている。外国籍の方の防災計画は大丈夫か。天満宮の観光客対応は大丈夫か。対策が必要。

マイクロアグレッション

1. 悪気ないけど人を何気に傷つけている「マイクロアグレッション」について、「(その人のことを考えて) 言わない方がいい」という教育も大事だが、「受け方」の教育も必要。「気にしないで」という教育が必要。

PTA と言葉について

1. 副会長のことを「女子副」と呼ぶ。総会時に「その女子副を廃止しましょう」という流れがあった。そもそも「男子と女子を何でも分けることはおかしい」「SDGs・ジェンダーレスという言葉を使うと正義」という風潮がおかしい。その言葉の理由や内容をしっかり分かったうえで使うべき。

小中学校の給食の補助金について

1. 子ども3人のうち上2人は一時期不登校だったが、今はサポートルームで登校してるが給食は食べてない。給食の補助はありがたいが、給食を食べてない子への補助はどうなるのか。また、給食の安心安全の基準がどうなのか、曖昧である。

(議員より) 国の方向性が無料の動きで、本市は不登校の子どもにも3割補助となっている。

環境厚生常任委員会分科会でお聞きしたご意見

肩書名称について

1. PTAの役員選任の際「男子副会長」「女子副会長」の肩書名称につき、ジェンダーレスの時代におかしな肩書だとの意見が出された。しかし、男性・女性により固有の役割が考えられるのではないか。ジェンダーレスという時代の考え方を画一的に適用しようとする意見に違和感を覚える。

発達障がい児の支援体制の充実を願う

1. 子ども食堂を運営している。参加される保護者から聞かされた発達障がい児の支援不備についてお話したい。

最近、発達障がい児の割合が顕著に増えている。通級指導教室の障がい児に対する支援とは学業面・家庭面・福祉面・医療面等多面に分岐した個別の教育支援計画の下に組み込まなければならないが、現実の通級教室ではこれら計画上の支援を満足させることはできず、1クラスに必要な教員数が不足しており、スタッフも補充されていない。

障がい児童の就学先について、現状では特別支援学校が満杯なため、通級教室に頼らざるを得ない現実があるが、新しく教員になる方が減少している今の段階では、筑紫女学園など大学で教育課程を専攻している学生の力を借りる必要もあるのではないか。

2. 通級教室の構成につき、健常児と障がい児とが同席しているが（インクルーシブ教育）、同席の功罪につき、保護者に心構えが求められる。

（議員から）これは国と県と市が連携していく必要があるかと思う。具体的な細かいご意見をいただければ、その分進められることが一つでも増えていくのではと思う。

（議員から）太宰府市の特別支援学級、通級指導教室は増加傾向にある。

知的障がい者施設の経営困難について

1. 自身が勤めている福岡市の施設にて、知的障がい者である入所者が施設職員を傷つける事案が発生した。警察に刑事事案として相談したが、責任能力に不十分さが認められるところから、問責できない結果となった。施設は、労働安全衛生法上の義務があり、当被害者である職員に対して賠償責任を果たさなければならない。

入所者の保護者からは利用料金を納入している以上、相応のサービス提供は当然の権利だと主張される。適切な支援を提供しているが、不十分であると指摘を受ける状況である。

このような状況のため職員が辞めていく。今後もこのような状況が続けば、施設は成り立たなくなっていくのではないかと思う。

観光地のごみ問題

1. 観光地のごみ箱を有料化にしているところがあると聞いた。太宰府市でもそのような対策を講じて、環境保護には負担が伴うことを利用者に実感してもらってはどうか。

(議員から) オーバーツーリズムの中でもごみ問題というのは大きな問題である。調査研究をさせていただきたい。

野良猫対策の周知を

1. 野良猫の避妊も補助が出ることを、広報を使って知らせてほしい。

議員の視察と報告について

1. 議員の視察の日程と内容について教えてほしい。また、視察後は視察内容の報告してほしい。

(議員から) 5月15、16日の1泊2日。北谷町で避難行動要支援者名簿と個別避難計画について、また那覇市で異動受付支援システムについて視察する。

フリースクール通学者の負担軽減を

1. 子供が不登校になった場合、フリースクールに通わせるには金銭的負担が大きい。この点、保護者への補助金が必要と考え要望する。

住まいの選択と権利保障の関係

1. 保護関係で提供された住宅情報に対し、バス停や病院から遠いなど、自分の希望通りのものでない際に、「住む権利」の侵害だと主張される方がいる。しかし、この考え方は間違っているのではないかと考える。

高齢者支援を充実すべき

1. 高齢者の集う場所がない。双葉老人ホームの広場に高齢者のレクリエーションスペースを作るべき。
2. 高齢者の移動手段として無料福祉バスを設けるべき。

西鉄路線バスの廃止に対して

1. 西鉄路線バスの廃止に対し、市は高齢者のために代替移動手段を用意すべき。

(議員から) バス運転士不足が一番の問題である。議会からも代替案を出しているところであるが、デマンド交通の実証実験を行い検証していくことになる。

指定管理者について

1. 指定管理者の新規入札が始まるが、市の選定基準に「専門技術者の存在」を入れるべき。

障がい者施設における性加害事件予防の必要性

1. 障がい者施設で障がい者による入所者への性加害事件が発生したと知人から聞いた。警察に救済を求めたが、責任能力の欠如、証拠不明のため事件となっていない。施設、作業所を含め、防犯カメラの設置、死角場所をなくすなどの対応をお願いしたい。

いきいき情報センター1階「全世代交流フリースペース」の管理について

1. 「フリースペース」は全世代利用のためのスペースとして設けられているはず。それが、現実には学生の学習室として利用され、高齢者の哄笑が禁じられている。これは、管理目的がはっきりしていないことに原因がある。高齢者の寄合としての利用目的を達するためには、仕切りを設けて、学生の勉強環境機能を確保するとともに、高齢者の憩いの場としての機能を発揮できる仕組みに変えるべきである。

学生と高齢者の九博利用補助について

1. 九州国立博物館の展示は教育効果・文化文明の広報として高いものがある。学生にはぜひ見てもらいたいし、高齢者には外出の大きな動機になる。市は、補助券を出すなどして、教育支援、高齢者活動支援を行うべきである。

松川水源水と大佐野水源水の利用配分について

1. 松川ダムの水は濁っており、薬を多く使って飲み水にしていると聞いた。大佐野ダムの利用を拡大し、松川ダムの上水道利用割合を減らすべきである。

（議員から）水道水として利用するためには一定の薬剤を利用する必要があるが、その薬剤は飲用時には消失してしまう。飲み水として松川ダムの水が不適というわけではない。

（議員から）太宰府市の水はほとんど筑後川からの送水である。

環境事業を SDGs に見合ったものに展開すべき

1. 例えば、市内のごみでも再生の視点で循環サイクルを展開して SDGs に見合ったものにすべき。

国土館大学跡地の再利用について

1. 修学旅行の受け入れ先として、同地を開発するべきではないか。
(議員から) 同地に対し様々な検討はされているが具体化はしていない。

意見交換会に出席した理由

1. 自治会を退会したら、広報紙が配布されなくなった。市議会がどのような活動をしているのかを知りたくて本会に出席参加してみた。託児利用があったので参加ができた。

資源ごみのリサイクルについて

1. トレーの回収について、太宰府市では白色のものしか受け入れないことから、有色トレーの処理に困っている。
2. 天ぷら油につき、固めて一般ごみとして出しているが、まとめれば燃料として再利用できると聞いた。再利用の検討もしていただきたい。

建設経済常任委員会分科会でお聞きしたご意見

意見交換会の進め方等について

1. このような会を各地域で開催してほしい。
2. 本来の意見「交換」の場にしたいほうがいいのではないか。
3. ゆっくりはっきり話してほしい。
4. 今日の内容はまとめるのか。

路線バスなど市内の交通手段の確保と持続について

1. とにかく市民の意見を聴いて意見交換をして交渉過程も示してほしい。情報が一方通行になっていないか。
2. 去年は、まほろば号が厳しいという記事を大きく載せておいて、路線バスの扱いが小さいというのはおかしくないか。
3. まほろば号で代替するのが現実的でないというなら、「ではどうする？」に答えてほしい。デマンドも「検討」では遅い。
4. 人手不足は全国的問題だが、しかし、それを言い訳にしていないか。

西鉄に任せきりにせず、市として真剣にやれることをやりつくして解決まで進んでもらわないと、困る。

5. とにかく、移動手段を確保してほしい。
6. 通勤、買い物、通院に困るのは明らかなので、代替もしっかり考えてほしい。
7. まほろば号の運賃を再検討してもいいのでは。観光客との区別もしてもいいのでは。
8. 市で人を雇ったり車両を持ったりして地域バスを走らせられないのか。

高雄の調整区域について

1. 田んぼがソーラーパネルや畑になっている。自分で作りたいという人もいるのではないだろうか。市民農園のようにして田んぼも残し、自然を守っていけないか。

公共施設の今後について、どうしていくのか

1. 五条の保健施設の再開発ができないのか、総合福祉センターにまとめられないか。
2. 保健環境研究所の跡地をどうするのか。
3. 松川の水道センターなど優良企業に売却しては。
4. 公共施設の指定管理について、経年劣化というばかりで専門的な管理者がいない管理事業者から、優秀な管理事業者に変えてほしい。

五条駅・いきいき情報センターの再開発を

1. 建物を建てて人を集めるというのはもう古い。効果のあるものに投資してリターンを求めるといふ姿勢で進めてほしい。
2. 市役所移転をするときには五条に持ってきてほしい。いきいき情報センターも活用し大きくやってほしい。バス利用も復活するのでは。
3. 庁舎は水城と太宰府の中間というのが暗黙の了解。
4. 駅を5階建てにでもして、医療モールとか住居を入れるとかしてほしいが、今の財政では無理。財政調整基金だっただけの運転資金になっていて、現市長の下で減り続けている。自民党や国交省からお金を取ってくるしかない。

人口増について

1. 史跡地の空地を利用するなどして人口増につなげてほしい。
2. 人口減の予測や目標を示すだけにとどめず、人口を増やす具体的政策に力をいれて、税収増にもつなげてほしい。

空き家について

1. 便利なのに空き家ができる、という都会ならではの問題があるのではないか。高台に住んでいても駅に近いところに駐車場ビルを作るなどして通勤しやすくするなどの工夫ができるのではないか。
2. 空き家バンクを整えてはどうか。わかりやすい仕組みがあると、人口の流入もスムーズになるのでは。

観光について

1. 国際観光都市太宰府にふさわしい観光政策を。
 - ・福岡、北九州、久留米のような観光コンベンションビューローを設置しては。
 - ・でも、お金だけ第三セクターに流れるようなことは避けてほしい。
2. 太宰府市のいいところは、やはり観光。他の何かを考えるより観光に注力してみてもいい。
 - ・ボランティアにも少しでもお金を払うなどして旅の人との触れ合いをもっと深めてほしい。
3. 日本遺産の候補地への移行は大事件である。

オーバーツーリズムについて

1. 日本人が住みやすいということをまず考えてほしい。
2. 外国語表記ばかりでは、日本人も困る。
3. 外国人に寄り添った観光コンテンツというより、日本人が大切にしているものを外国の方が求めているということを知っておいてほしい。
4. 有料のごみ箱を作ってみてはどうか（京都市や川越市）。そんな発想の転換が環境にも優しいのでは。

委員会の、視察先、視察目的、視察の予算は

1. 視察で得た知見を市民の財産として報告会をするなど共有してほしい。

(議員から) 議会運営委員会で視察した福知山市がそのような試みをしている。

産業・ビジネス面での方針や施策について

1. サテライトオフィスを作るといっても、空いているからというだけではダメで、わくわくするような場所に誘致するのが大切。
2. 小規模・中小企業振興条例案を見た。小規模事業者に求める内容が多いが、商工会が小規模事業者を「支える」という部分が弱い。グランドデザインを欠いているという特徴も見えてきた。
3. 商工会が、高校と企業を結ぶ役割を担えるのではないか。意欲的に連携する事業者への補助などを試みてもいいのではないか。

市内の整備について

1. 公園のトイレを明るくきれいにしてほしい
2. 下水道の事故や冠水がニュースに取り上げられるが、太宰府市の点検状況など広報等で示すと良いのでは。
3. 基本インフラには予算を振り向けてほしい。
4. 側溝の穴が何年も前からボロボロである (わたなべ整形外科クリニックの横)。
5. 湯の谷からの道と石坂からの道が出会うところが危ない。